

2021年度事業報告書

自 2021年 4月 1日
至 2022年 3月31日

目次

1. 概況報告	1
2. 定時総会、理事会の開催に関する事業	1
1) 2021年度定時総会の開催	1
2) 理事会の開催	1
3. 委員会の開催に関する事業	2
1) JAPAN PACK 2022 実行委員会	2
2) 包装学校企画運営委員会	6
3) 広報推進委員会	7
4) ISO/TC313国内審議委員会	9
5) 技術委員会	11
6) IOT研究会	11
4. 会員等諸会合の開催	13
1) 新年賀詞交歓会	13
2) 歳末特別講演会	13
3) 支部会の開催	13
5. 調査、各種情報事業等に関する事業	14
1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査	14
2) 技術情報の収集・提供等	14
3) 各種情報の発信等	14
6. 人材育成、セミナー・講習会に関する事業	15
1) 包装学校事業	15
2) 青年部会	15
3) 各種セミナー・講習会	17
7. 国の施策に関する事業	18
1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業	18
8. その他関連事業	18
1) 包装機械会館の運営に関する事業	18
2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業	18
3) 福利厚生に関する事業	18
4) 関連産業との連携	18
9. 会員の現況	19
1) 入会	19
2) 退会	19
3) 会員登録の変更	19

1. 概況報告

わが国包装機械産業の2020年度の生産実績は4,308億円で、対前年度比8.7%減となった。一方、2021年度も、新型コロナウイルスの再流行の影響があり、国内外ともに引き続き厳しい環境が続いている。貿易統計（財務省）によれば、輸出高は8.3%増と好調に推移している一方で、国内の設備投資の落ち込みが大きく、機械統計（経済産業省）は暦年ベースで6.6%減（1-12月確報値）となり、生産高は前年度を下回る見込みとなっている。

本年度は、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響もあり、ジャパンパックの開催をはじめ、各事業の開催方法の変更を余儀なくされたが、事業計画に基づき会員サービスの向上、また安定的な運営等、業界の発展と工業会の体制強化に努めた。

2. 定時総会、理事会の開催に関する事業

1) 2021年度定時総会の開催

本年は新型コロナウイルスの感染拡大により、開催日を延期し、規模を縮小して開催した。事業計画ならびに定款の規程に基づき、2020年度事業報告案の審議・承認、2021年度事業計画の報告を行った。また本年は総会の終結を以って退任する理事ならびに監事の補充のため、議案が提出され、審議・承認された。なお本年も懇親会の開催は行わなかった

※2021年度定時総会

月 日：2021年5月27日（木）
会 場：鉄鋼会館 701号室（東京都中央区）
出席者：104名（委任状による出席も含む）

2) 理事会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、5月、9月、12月、3月の計4回理事会を開催し、本年度事業の進捗状況の確認、各議案の審議・承認、役員の業務執行状況等の報告を行い、本会事業の円滑な推進に努めた。

※第353回理事会

月 日：2021年5月27日（木）
会 場：鉄鋼会館 704号室（東京都中央区）
内 容：2021年度定時総会上程議案の確認／2021年度事業計画案・収支予算案の承認／理事・監事の各委員会の役割の確認／経済産業省ご挨拶及び施策説明

※第354回理事会

月 日：2021年9月15日（水）
会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）／オンライン
内 容：新規入会に関する件／規程改正に関する件

※第355回理事会

月 日：2021年12月1日（水）
会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）／オンライン

内 容：新規入会の承認／電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理
規程の承認／ジャパンパックの体制について／報告事項

※第356回理事会

月 日：2022年3月11日（金）

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）／オンライン

内 容：任期満了に伴う役員選任の件／新規入会の承認／2021年度事業報告書
（案）／2021年度決算報告書（案）／2022年度事業計画（案）／
ジャパンパックの体制について／報告事項

3. 委員会の開催に関する事業

事業計画に基づき、JAPAN PACK 実行委員会、包装学校企画運営委員会、広報
推進委員会、ISO/TC313国内審議委員会、技術委員会、IOT研究会を逐次開催
し、本年度事業の円滑な推進に努めた。

1) JAPAN PACK 2022 実行委員会

JAPAN PACK 2022実行委員会（委員長：山本 治男氏 株式会社東京自
働機械製作所社長）は、国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機
械、医薬・化粧品製造機械、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合
理化および国民生活向上への寄与、貿易の振興、ひいては包装機械業界ならびに関係業
界の発展を目的として、下記のとおり委員会活動を推進の上、2月15日（火）から同
月18日（金）までの4日間、東京ビッグサイト西・南展示棟において「JAPAN P
ACK 2022 [日本包装産業展]」を開催した。

未曾有のコロナ禍で多くの商談機会が失われ、経済への深刻な打撃が懸念される中
で第33回を迎えた本展では、『ともにつくる 未来の包程式』をテーマとして、包装機
械・資材を軸にサプライチェーンに係る様々な新機種・新提案を一堂に会し、人手不足
解消、製造・物流コスト低減、省エネ・省資源化、安全安心・衛生性向上、ウィズコロ
ナ、アフターコロナ対応等の様々な喫緊課題に対する解決策を『包程式』として発信す
ることにより、製造・流通・小売分野へ向けて商品力向上や販売力促進等に寄与した。

併催行事として花王株式会社 取締役会長の澤田道隆氏による基調講演『ESG課題
にいかにか立ち向かうか』をはじめ、関係業界における有識者等を講師に招聘して、生
産性向上、地球環境への課題、食料に関する問題、安全安心の実現、市場の拡大等へ向け
た各種講演会・専門セミナーの他、一般社団法人日本印刷産業連合会協力のもとジャ
パンパッケージングコンペティション（JPC）受賞製品展示コーナーの設置、クリー
ン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）会員企業の取り組み事例の
発信、包装ライフサイクル展示コーナー、JAPAN PACK AWARDS 202
2表彰式、IOT研究会展示コーナーなど、プラスチックの資源循環への対応やI
OT・AI技術活用等に係る多彩な各種企画も実施された。

さらに公式サイト内にバーチャルコンテンツのJAPAN PACK Online
2022を実装し、本展は、従来の所謂リアル展にバーチャル展を加えたハイブリッド
展示会としてこれまで以上に効果的なマーケティングツールへと進化を遂げた。

なお、本展の出展者数は299社・団体（リアル展264社・団体／オンライン展
35社・団体）。出展小間数は1,474小間。来場者数は会期4日間で10,906
人。JAPAN PACK Online 2022訪問者数（ユーザー数）は会期約1

か月間（1月17日～2月25日）で62,545（アクセス数506,362／平均PV8.10）。

※JAPAN PACK 2022 [日本包装産業展] 開催説明会

月 日：2021年 4月 7日（水）

会 場：オンライン

内 容：実行委員長挨拶、包装機械業界動向および開催要旨説明、質疑応答

併 催：展示会活用セミナー『フジキカイの展示会活用方法』

講師：生田 涌希 氏 株式会社フジキカイ 代表取締役社長

※第5回拡大正副実行委員長会議

月 日：2021年 5月14日（金）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：JAPAN PACK 2022 [日本包装産業展] 開催説明会実績報告、
出展勧誘活動、併催企画案等各種進捗計画討議

※事前セミナー『ものづくりDX Digital Manufacturingの
現在（いま）～e-Factory実導入事例を通して考える～』

月 日：2021年 7月13日（火）

会 場：オンライン

講 師：杉山 素 氏

三菱電機株式会社 FAシステム事業本部

Digital Manufacturingアーキテクト

※JAPAN PACK Online 2022 開催概要説明会

月 日：2021年 7月28日（水）

会 場：オンライン

内 容：全体概要、出展メニュー、オプション等企画要旨説明、質疑応答

※事前セミナー『花王のプラスチック包装容器における取り組み』

月 日：2021年 8月20日（金）

会 場：オンライン

講 師：柴田 学 氏

花王株式会社 ESG部門 ESG活動推進部 担当部長

※展示会活用セッション『成果を出す！出展者のイベントDX戦術』

月 日：2021年 9月 8日（水）

会 場：オンライン

講 師：①岡 慶彦 氏

bravesoft株式会社 Event Experience
グループ DX Solution戦略事業部 事業部長

②本多 志郎 氏

株式会社映像センター 執行役員 イベント映像事業部 事業部長

※第6回拡大正副実行委員長会議

月 日：2021年10月6日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン
内 容：小間割（案）審議、各種進捗計画討議

※第6回実行委員会

月 日：2021年10月6日（水）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン
内 容：小間割（案）審議、各種進捗計画討議

※JAPAN PACK 2022 [日本包装産業展] 出展者説明会

月 日：2021年10月19日（火）
会 場：オンライン
内 容：実行委員長挨拶、開催要旨、運営要旨説明、質疑応答

※事前セミナー『中国市場における最新の化粧品動向と越境ECパッケージ』

月 日：2021年11月11日（木）
会 場：オンライン
主 題：①世界を牽引する中国市場の最新トレンドとニューノーマル時代の展望
②中国消費者に“ウケる”パッケージデザイン
～SNS映えする商品デザインとプロモーション～
講 師：①浅井 潤司 氏
株式会社矢野経済研究所 コンシューマー・マーケティングユニット
ライフスタイル&ビューティグループ部長 主席研究員
②栗田 翔太 氏
一般社団法人日本美粧協会 理事

※CLOMA展示コーナー出展者説明会

月 日：2021年11月25日（木）
会 場：オンライン
内 容：主催者挨拶、開催要旨・運営要旨および企画概要説明、質疑応答

※JAPAN PACK 2022 [日本包装産業展]実施概要記者発表会

月 日：2022年 1月13日（木）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：実行委員長挨拶、開催概要および出展製品傾向・特徴説明、質疑応答

※包装ライフサイクル展示コーナー協賛企業説明会

月 日：2022年 1月19日（水）
会 場：オンライン
内 容：主催者挨拶、開催要旨・企画趣旨説明、質疑応答

※JAPAN PACK 2022 日本包装産業展

月 日：2022年 2月15日（火）～18日（金）
会 場：東京ビッグサイト 西・南展示棟

【主要行事・企画・サービス】

※開会式

月 日：2022年 2月15日（火）

会 場：東京ビッグサイト 西展示棟

内 容：主催者挨拶、来賓挨拶、開会宣言、テープカット

※包装ライフサイクル展示コーナー報道関係者向け説明会

月 日：2022年 2月15日（火）

会 場：東京ビッグサイト 西展示棟

※基調講演・特別講演会・専門セミナー

月 日：2022年 2月15日（火）～18日（金）

会 場：東京ビッグサイト 国際会議棟

※出展者セミナー

月 日：2022年 2月15日（火）～18日（金）

会 場：東京ビッグサイト 西・南展示棟

※JAPAN PACK AWARDS 2022 受賞製品パネル展示コーナー

月 日：2022年 2月15日（火）～18日（金）

会 場：東京ビッグサイト 西展示棟

※IoT研究会展示コーナー

月 日：2022年 2月15日（火）～18日（金）

会 場：東京ビッグサイト 西展示棟

※包装ライフサイクル展示コーナー

月 日：2022年 2月15日（火）～18日（金）

会 場：東京ビッグサイト 西展示棟

※CLOMA展示コーナー

月 日：2022年 2月15日（火）～18日（金）

会 場：東京ビッグサイト 西展示棟

※JPC受賞製品展示コーナー

月 日：2022年 2月15日（火）～18日（金）

会 場：東京ビッグサイト 西展示棟

※就活サポートコーナー

月 日：2022年 2月15日（火）～18日（金）

会 場：東京ビッグサイト 西展示棟

※包装相談コーナー

月 日：2022年 2月16日（水）～18日（金）

会 場：東京ビッグサイト 西展示棟

※会場巡回ツアー

月 日：2022年 2月16日（水）～18日（金）
会 場：東京ビッグサイト 西・南展示棟

※JAPAN PACK AWARDS 2022 表彰式

月 日：2022年 2月17日（木）
会 場：東京ビッグサイト 西展示棟

※JAPAN PACK 2022 報告会

月 日：2022年 3月16日（水）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：各種開催結果報告、総括討議

2)包装学校企画運営委員会

包装学校企画運営委員会（委員長：一岡 幹朗氏 大森機械工業株式会社 取締役）は、本年6月から開講の第48期包装学校ならびに来期包装学校の開講準備にあたり、下記の委員会活動を推進した。

また、先期に引き続き、座学講座は受講生が講義を職場や自宅など場所を選ばず、自由な時間に繰り返して、柔軟に受講できるようにオンデマンド講座とした。なお、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開講式・オリエンテーションとディベートディスカッション・修了式は、Webでの開催とした。

※第107回包装学校企画運営委員会

月 日：2021年5月25日（火）
場 所：包装機械会館2F会議室
内 容：新型コロナウイルス感染拡大に伴い、6/18（東京）6/25（大阪）
第48期開講式・オリエンテーションの開催中止を決定
代替案としてWebディスカッションを検討

※Webディスカッション

月 日：2021年9月1日（水）
場 所：包装機械会館2F会議室及びオンライン
内 容：Webにて、ディスカッションを開催

※第108回包装学校企画運営委員会

月 日：2021年9月30日（木）
場 所：包装機械会館2F会議室及びオンライン
内 容：第49期包装学校カリキュラム（案）の審議

※第109回包装学校企画運営委員会

月 日：2021年12月9日（木）
場 所：包装機械会館2F会議室
内 容：①2022年度第49期包装学校カリキュラム日程の決定
②2021年度第48期ディベートディスカッション・修了式について

※第110回包装学校企画運営委員会

月 日：2022年1月28日（金）

場 所：包装機械会館 2 F 会議室及びオンライン

内 容：新型コロナウイルス感染拡大に伴い、
第 4 8 期包装学校ディスカッション及び修了式はW e b での開催を決定

3) 広報推進委員会

広報推進委員会（委員長：下島 敏章 氏 ストラパック株式会社 社長）は、関連業界等と連携強化を図りながら以下の委員会活動を推進し、国内外に向けてジャパンプランドを広くアピールすることにより、当工業会ならびに会員企業ひいては関連業界各位の価値向上に繋がるための活動に努めた。

※日本包装機械工業会セミナー『持続可能な社会の実現のために』

月 日：2021年 4月 9日（金）

会 場：オンライン

主 題：持続可能な社会の実現のために

～DNP環境配慮パッケージング GREEN P a c k a g i n g ～

講 師：柴田 あゆみ 氏

大日本印刷株式会社 包装事業部 マーケティング戦略本部 事業開発部
環境ビジネス推進グループリーダー

※第 1 8 回広報推進委員会

月 日：2021年 6月 8日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：各種事業報告および日本包装機械工業会セミナー『冷凍食品業界の最新動向とA I 技術』、冷食 J A P A N 2 0 2 1 参加企画案、J A P A N P A C K 2 0 2 2 連携事業企画案等進捗計画に係る討議

※日本包装機械工業会セミナー『冷凍食品業界の最新動向とA I 技術』

月 日：2021年 6月 22日（火）

会 場：オンライン

主 題：①冷凍食品の市場動向と知って得する冷凍食品について

②A I 選別技術で自動化と食品ロス削減へ！

～ニチレイフーズの取り組み事例～

講 師：①鈴木 規雄 氏

一般社団法人日本冷凍食品協会 広報部次長

②塚本 真也 氏

株式会社ニチレイフーズ 技術戦略部 装置開発グループ リーダー

※第 1 9 回広報推進委員会

月 日：2021年 8月 24日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：日本包装機械工業会セミナー『冷凍食品業界の最新動向とA I 技術』、パッケージ&マシン通信等各種事業報告、冷食 J A P A N 2 0 2 1 セミナー参加事業、J A P A N P A C K 2 0 2 2 連携事業企画案（DX戦略トレンドセミナー、事前業界ガイダンス付き学生向け会場巡回ツアー、その他）等各種事業計画案討議

※冷食 JAPAN 2021 主催者セミナー参画

月 日：2021年10月29日（金）
会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）
主 題：食品包装における超音波加熱シールの凄さ
講 師：宮田 敏弘 氏
株式会社フジキカイ 取締役営業本部長

※第20回広報推進委員会

月 日：2021年11月 9日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン
内 容：冷食 JAPAN 2021 セミナー参加事業、パッケージ&マシン通信等
各種事業報告、JAPAN PACK 2022 連携事業企画案（DX戦略
トレンドセミナー、包装業界見学ツアー、就活サポートコーナー、産学連携
イベント）等各種事業計画案討議

※第21回広報推進委員会

月 日：2022年 2月 1日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン
内 容：パッケージ&マシン通信等各種事業報告、DX戦略トレンドセミナー、
包装業界見学ツアー、就活サポートコーナー、合同就活イベント等各種
事業計画討議

※DX戦略トレンドセッション

月 日：2022年 2月16日（水）
会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）
主 題：①ものづくりのデジタルトランスフォーメーションをどのように考えるか
②中外製薬のデジタルトランスフォーメーション（DX）への挑戦
③未来の飲料製造工場におけるDXソリューション
講 師：①石山 裕二 氏
経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐
②中西 義人 氏
中外製薬株式会社 デジタル推進デジタル戦略推進部 部長
③桑野 誠司 氏
株式会社アセプティック・システム サービス開発部 部長

※JAPAN PACK 2022 就活サポートコーナー

月 日：2022年 2月15日（火）～18日（金）
会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）
内 容：包装関連業界における人材確保支援ならびに学生の就職活動サポートを主
目的とした専用コーナー。参画出展者による会社情報資料の提供（会社P
Rコンテンツ展示サービス）や学生対応可能な出展者情報を学生や学校関
係の来場者に提供することにより、企業と学生における出会いの場を創出
参画者：イーデーエム株式会社、エーシンパック工業株式会社、大森機械工業株式会
社、CKD株式会社、ストラパック株式会社、株式会社東京自働機械製作

所、株式会社フジキカイ、株式会社古川製作所（以上8社）

※包装業界見学ツアー

月 日：2022年 2月16日（水）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

内 容：学生へ向けて包装業界の認知度向上を図るとともに、参画出展者とのキャリアマッチングにも貢献。午前・午後両コースに分かれて、業界ガイダンス、参画者出展ブース巡回見学、および質疑応答を実施

参画者：イーデーエム株式会社、大森機械工業株式会社、ストラパック株式会社、
静甲株式会社、株式会社東京自働機械製作所、PACRAFT株式会社、
株式会社フジキカイ、マキー・エンジニアリング株式会社（以上8社）

※包装業界見学ツアー@オンライン

月 日：2022年 2月18日（金）

会 場：オンライン

内 容：「包装業界見学ツアー」記録動画（業界ガイダンス、参画者出展ブース巡回見学）のアーカイブ配信および質疑応答

参画者：イーデーエム株式会社、大森機械工業株式会社、ストラパック株式会社、
静甲株式会社、株式会社東京自働機械製作所、PACRAFT株式会社、
株式会社フジキカイ、マキー・エンジニアリング株式会社（以上8社）

※包装業界合同企業説明会@オンライン

日 時：2022年3月15日（火）

会 場：オンライン

内 容：包装業界見学ツアーのフォローアップを主な目的として参画者合同による企業説明および質疑応答

参画者：イーデーエム株式会社、大森機械工業株式会社、CKD株式会社、
ストラパック株式会社、静甲株式会社、株式会社東京自働機械製作所
PACRAFT株式会社、株式会社フジキカイ（以上8社）

※ウェブ版機関誌『パッケージ&マシン通信』発行（原則月2回）

体 裁：A4版／PDF形式

配 信：登録者へEメール配信

内 容：当会ウェブ機関誌『パッケージ&マシン通信』を毎月2回発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報を推進

※ProPak Asia 2021日本パビリオン

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】

4)ISO/TC313国内審議委員会

ISO/TC313国内審議委員会（委員長：長岡技術科学大学 福田 隆文 教授（システム安全専攻））は、昨年度に引き続き、イタリアから提案された包装機械におけるEN415規格のISO化（ISO/TC313）に伴い、国内審議委員会活動及び国際

会議への参加を実施した。

なお、現在進行形のISO/TC313/WG1（包装機械の一般事項）は、コメント審議が大幅に遅れ、審議期間の延長となった。

※ISO国内審議委員会

月 日：2021年6月29日（火）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：ISO/TC313/WG1国際会議へのコメント審議

※ISO国際会議対応委員会

月 日：2021年7月7日（水）

会 場：オンライン会議

内 容：ISO/TC313/WG1事務局提出用の日本国コメントシーN文書コメント作成

※ISO国内審議委員会

月 日：2021年8月2日（月）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：8/17-19WG1国際会議にて主張する内容の決定

※ISO国際会議対応委員会

月 日：2021年8月13日（金）

会 場：オンライン会議

内 容：再確認と英文コメントの作成

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2021年8月17日（火）～19日（木）

会 場：オンライン会議（開催国：イタリア）

内 容：N文書コメント（No.1～99）に対する各国の審議・承認

※ISO国内審議委員会

月 日：2021年9月17日（金）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：N文書コメントNo.201以降の審議

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2021年9月30日（木）

会 場：オンライン会議（開催国：イタリア）

内 容：N文書コメント（No.99～130）に対する各国の審議・承認

※ISO/TC313国際会議（全体会議）

月 日：2021年10月28日（木）

会 場：オンライン会議（開催国：イタリア）

内 容：ISO/TC313/WG1延長（仕切り直し）に対する各国の合意

※ISO国内審議委員会

月 日：2021年12月20日（月）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：ISO/TC313/WG1延長（仕切り直し）決定の報告

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2022年3月1日（火）～3日（木）

会 場：オンライン会議（開催国：イタリア）

内 容：N文書コメント（No.130～239）に対する各国の審議・承認

5)技術委員会

技術委員会（委員長：伊早坂 嗣氏 株式会社川島製作所社長）は、技術事業のあり方を検討し、技術センターの事業方針を決定した上で、包装機械を取巻く環境変化への対応や産学・産産連携、工場見学等を計画し実施した。

※(株)安川電機 入間事業所見学会及び意見交換会

月 日：2021年4月15日（木）

会 場：(株)安川電機 入間工場（埼玉県入間市）

内 容：安川ソリューションファクトリ見学会及び意見交換会

① 技術委員会5名、IOT研究会5名参加

② 安川電機ソリューションのご紹介

③ 安川ソリューションファクトリ見学

④ IOT/AI等の意見交換会

※2021年度第一回技術委員会

月 日：2021年12月13日（月）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：日食工（一社）日本食品機械工業会）IoT推進委員会について

※2021年度第二回技術委員会

月 日：2022年3月8日（火）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：2022年度技術委員会活動計画について

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2021年6月30日(株)デンソーウェーブ工場見学、2021年10月12日及び2022年1月26日のSMC(株)下妻工場見学は、中止となった。

6)IOT研究会

今後、包装産業界に求められる業界共通の課題や長期的な問題に対し、IOTの活用を切り口に、一つでも多くの問題解決へ導くことを目的とし、2019年4月に、東京都立産業技術研究センター支援のもと、「IOT研究会」を発足した。

今年度は、2022年2月JAPAN PACK 2022 [日本包装産業展]にてIOT研究会展示コーナーを設け、クオリティーAIチェッカーの製作・実機展示及び稼働管理システム、医薬品向けSCADAシステム、等のパネル展示を実施した。

※技術委員会主催 (株)安川電機 入間事業所見学会及び意見交換会

月 日：2021年4月15日（木）

会 場：(株)安川電機 入間工場（埼玉県入間市）

内 容：安川ソリューションファクトリ見学会及び意見交換会

IOT研究会5名参加

※オムロン(株)ATCオートメーションセンター見学会及び意見交換会

月 日：2021年4月16日（金）

会 場：オムロン(株)ATCオートメーションセンター（品川）

内 容：ATCオートメーションセンター見学会及び意見交換会

※2021年度第一回IOT研究会

月 日：2021年4月16日（金）

会 場：包装機械会館2F会議室

内 容：2021年度目標の具現化（クオリティーAIチェッカーの製作）

※IOT研究会「クオリティーAIチェッカー打合せ」1回目

月 日：2021年4月27日（火）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：クオリティーAIチェッカー仕様打合せ

※IOT研究会「クオリティーAIチェッカー打合せ」2回目

月 日：2021年5月28日（金）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：クオリティーAIチェッカー仕様打合せ

※IOT研究会「クオリティーAIチェッカー打合せ」3回目

月 日：2021年6月11日（金）

会 場：(株)川島製作所（草加市）

内 容：クオリティーAIチェッカー機械仕様レビュー

※IOT研究会「クオリティーAIチェッカー打合せ」4回目

月 日：2021年8月3日（火）

会 場：(株)ケーテー製作所（春日部市）

内 容：クオリティーAIチェッカー制御仕様打合せ

※2021年度第二回IOT研究会

月 日：2021年9月2日（木）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：① 包装ラインにおけるデータ収集に関する現状の課題、等について、
田丸慎司 様（味の素食品(株)）との意見交換会

② 2021年度目標項目の進捗確認

③ JP2022 IOT展示コーナー仕様案について

※2021年度第三回IOT研究会

月 日：2021年10月5日（火）

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：JP2022 IOT展示コーナー仕様の具現化について

※2021年度第四回IOT研究会

月 日：2021年12月21日（火）

会 場：(株)ケーテー製作所（春日部市）
内 容：①クオリティーA I チェッカー動作レビュー
② J P 2 0 2 2 I O T 展示コーナー説明パネル仕様について

※2021年度第五回IOT研究会

月 日：2022年1月25日（火）
会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン
内 容：J P 2 0 2 2 に向かっての最終確認打合せ

※J P 2 0 2 2 事前準備及びアテンド

月 日：2022年2月14日（月）～2月18日（金）
会 場：東京ビックサイト 西ホールアトリウム
内 容：I O T 研究会展示コーナーアテンド

4. 会員等諸会合の開催

新型コロナウイルスの感染拡大により事業の変更を余儀なくされ、2021年度事業計画に基づき、総会、理事会、歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部会の開催を進めたが、運営方法の変更や、規模を縮小しての開催となった。

1) 新年賀詞交歓会

関係官公庁、当会会員、金融、プレスの方々をお招きして、当会と株式会社日本包装リース合同主催の2022年新年賀詞交歓会を開催した。この度は新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、食事の提供を控えての実施となった。

月 日：2022年1月12日（水）
会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

2) 歳末特別講演会

2021年度歳末特別講演会は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を考慮し、オンラインで開催をした。

※2021年度歳末特別講演会

月 日：2021年12月1日（水）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン
テーマ：セブン&アイグループのグリーンチャレンジ2050の取組
講 師：江上 貴司 氏
株式会社セブン&アイ・ホールディングス
営推進本部 サステナビリティ推進部オフィサー

出席者：59名

3) 支部会の開催

事業計画に基づき、当会事業の周知と会員間の情報交換・親睦等を目的として東日本支部、西日本支部との合同で支部会を開催した。本年も新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、昨年引き続きオンラインでの開催となった。2021年度事業報告案ならびに2022年度事業計画案について報告を行った。また2つのテーマで経済産業省による講演会を実施した。

※合同支部会

月 日：2022年3月2日（水）

会 場：オンライン開催

内 容：工業会の事業報告及び事業計画案等について

講演 1：プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について

講 師：北野 俊介 氏

経済産業省産業技術環境局資源循環経済課 係長

講演 2：製造業のデジタルトランスフォーメーションについて

講 師：岡田 淳 氏

経済産業省製造産業局産業機械課 係長

出席者：33名

5. 調査、各種情報事業等に関する事業

包装機械・関連機器に関する国内外の市場調査をはじめ、技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、パッケージ&マシン通信・ウェブサイト・メール等を通じ、広く一般に公開しわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進した。

1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカー約420社に対して、2020年度の生産高と輸出入高ならびに2021年度の生産計画に係るアンケート調査を実施した。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開した。

2) 技術情報の収集・提供等

(1) 技術センター事業

技術センターの事業として、包装機械ならびに関連機器に関する国内外のユーザー等からの各種技術相談の受付・回答、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進に努めた。

また、機械安全・CEマーキング等の相談に対応した。安全・衛生指導事業は今後も継続する。

(2) 警告マークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」

(日本語版)を広く包装機械・関連機器メーカーに頒布を継続した。

3) 各種情報の発信等

(1) 機関媒体「パッケージ&マシン通信」の発信に関する事業

当会ウェブ機関誌「パッケージ&マシン通信」を毎月2回発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報に努めた。

(2) 電子媒体の活用に関する事業

日包工・ジャパンパックのウェブサイトでの情報発信をはじめ、メールを通じ、関連省庁からの周知依頼、当会ならびに関連団体の行事等の情報の発信に努めた。また「インターネット製品PRコーナー（日本語・英語・中国語）」の掲載を通じ、会員企業製品の需要喚起に努めた。

6.人材育成、セミナー・講習会に関する事業

1)包装学校事業

わが国包装機械メーカーの若手技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象とした第48期包装学校を開講した。本年度は、2020年6月の開講式・オリエンテーションから2022年3月の修了式まで、包装機械設計・パッケージングエンジニア・マイクロコンピュータ制御技術の各講座を通じて、包装機械業界およびユーザー業界の人材育成・高度化に努めた。

昭和49年度の第1期から本年度の第48期までの修了者は5,067名となり、包装機械業界はもとよりユーザー業界からは、包装機械に関する唯一・高度の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

※第48期包装学校の課程別受講生（計115名）

- 1) 包装機械設計技術専門課程 53名
 - 2) パッケージングエンジニア専門課程 54名
 - 3) マイクロコンピュータ制御技術専門課程 8名
- ①PLCメカトロ制御講座

【第1期から第48期までの受講生数、修了者数】

受講者数・修了者数 専門課程名	受講者数（人）		修了者数（人）	
	48期	1～48期計	48期	1～48期計
1. 包装機械設計技術課程	54	2940	54	2829
2. パッケージングエンジニア課程	53	2128	50	2031
3. マイコン制御技術課程	8	297	8	207
合計	115	5365	112	5,067

2)青年部会

わが国包装機械産業の次代を担う経営幹部育成を目的として、青年部会（部会長：青木 康哲 氏 日本工業刃物株式会社 社長）は、以下の事業実施等を通じて会員相互の研鑽に努めた。なお、本部会活動が2021年9月27日に創立40周年を迎え、同年12月3日（金）にKKRホテル東京（東京都千代田区）において記念式典の開催および記念誌の発行を実施した。

※国内工場見学会

月 日：2021年 4月14日（水）

会 場：株式会社フジキカイ「THE BASE NAGOYA」
（愛知県北名古屋市）

※2021年度定時総会

月 日：2021年 4月14日（水）

会 場：株式会社フジキカイ「THE BASE NAGOYA」
（愛知県北名古屋市）

内 容：2020年度事業報告書案審議、2021年度役員体制案審議、2021年

度事業計画書案審議、青年部会規定改定案審議

※第76回幹事会

月 日：2021年 7月 1日（木）

会 場：オンライン

内 容：夏季セミナー、創立40周年記念事業、第2回JBCM・JPMA青年部
会交流会等各種事業計画審議

※第77回幹事会

月 日：2021年 9月13日（月）

会 場：オンライン

内 容：青年部会事業の開催ガイドライン案討議、創立40周年記念事業、第2回
JBCM・JPMA青年部会交流会等各種事業計画審議

※第78回幹事会

月 日：2021年11月24日（水）

会 場：オンライン

内 容：創立40周年記念事業等各種事業計画審議

※青年部会創立40周年記念式典

月 日：2021年12月 3日（金）

会 場：KKRホテル東京（東京都千代田区）

内 容：以下次第の通り

【次第】

1) 開会の辞

青木 康哲 氏 一般社団法人日本包装機械工業会 青年部会 部会長

2) 会長挨拶

大森 利夫 氏 一般社団法人日本包装機械工業会 会長

3) 歴代部会長代表挨拶

古城 美武 氏 一般社団法人日本包装機械工業会 副会長

4) 来賓挨拶

増田 文治 氏 共同組合日本製パン製菓機械工業会 理事長

5) 記念講演

八幡 暁 氏 カヤック冒険家 手漕屋素潜店ちゅらねしあ代表

6) 閉会の辞

生田 涌希 氏 一般社団法人日本包装機械工業会 青年部会 副部会長

※『青年部会創立40周年記念誌』発行

月 日：2021年12月 3日（金）

内 容：以下目次の通り

【目次】

1) 青年部会創立40周年を迎えて

青木 康哲 氏 一般社団法人日本包装機械工業会 青年部会 部会長

2) 青年部会創立40周年記念座談会

大森 利夫 氏 一般社団法人日本包装機械工業会 会長

亀田 稔 氏 一般社団法人日本包装機械工業会 副会長
古城 美武 氏 一般社団法人日本包装機械工業会 副会長
古川 雅章 氏 一般社団法人日本包装機械工業会 副会長
岡部 孝之 氏 一般社団法人日本包装機械工業会 常勤相談役

- 3) 青年部会員からのメッセージ
- 4) 青年部会創立40周年記念式典
- 5) 青年部会活動40年のあゆみ
- 6) 青年部会歴代部会長
- 7) 令和3年度青年部会員

※第79回幹事会

月 日：2022年 1月25日（火）

会 場：馬事畜産会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：2021年度事業報告書案審議、任期満了に伴う役員の改選に係る審議
2022年度事業計画書案審議、第2回JBCM・JPMA青年部会交流会計画討議

※第2回JBCM・JPMA青年部会交流会

月 日：2022年 3月 9日（水）

会 場：KKRホテル東京（東京都千代田区）

内 容：以下次第の通り

【次第】

1) 開会挨拶

田中 利政 氏 日本製パン製菓機械工業会 青年部 会長

青木 康哲 氏 日本包装機械工業会 青年部会 部会長

2) 出席者自己紹介

3) 意見交換会『アフターコロナに向けた取り組みと今後の展望』

※会員名簿PDF版の運用

※夏季セミナー

【新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令に伴い開催中止】

※2022年新年情報交換会

【新型コロナウイルス感染症における本会の指針を鑑み開催中止】

3) 各種セミナー・講習会

(1) 厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会の開催

日本包装機械工業会は、(一社)安全技術普及会、職業能力開発総合大学校と共催で講習会をオンラインにて開催した。

職業能力開発総合大学校（東京都小平市）

① 機械の安全化と国際安全規格編 （2日）

2021年12月 9日、10日

② 機械安全におけるリスク低減編 （2日）

2022年 1月13日、14日

③ リスクアセスメントの実践と妥当性確認編 （2日）

2022年 2月 9日、10日

④ 電気制御システム編 (2日)

2022年 3月 3日、4日

(2) IEC 60204-1/JIS B 9960-1対応

「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会の開催

2021年度事業で開催するために、高度ポリテクセンターと協議し、下記日程で開催した。

関東会場 高度ポリテクセンター 2021年11月15日、16日

関西会場 ポリテクセンター関西 2022年 2月16日、17日

7.国の施策に関する事業

1)中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

当会は2016年7月にスタートした中小企業等経営強化法の証明書発行団体として、2016年8月から証明書の発行を開始し、累計の発行数は8,697通で、その内訳は正会員5,924通、賛助会員805通、非会員1,968通となっており、包装機械業界の販売促進ならびにユーザー業界の新規設備投資促進に努めた。

本年度の証明書発行(1,139通)の内訳は次の通りである。

正会員 740通(証明書発行手数料は1通に付 2,000円)

賛助会員 103通(同上)

非会員 296通(証明書発行手数料は1通に付 10,000円)

8.その他関連事業

1)包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しをはじめ包装機械会館の運営、保守保全に努めた。

2)会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業

株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進、事業承継サポートプログラムの利用促進、ならびに本年度より新たに会員向けサービスが拡充された、出資業務・アドバイザー業務などの利用促進に努めた。また株式会社包装システムと協調し、PL保険・包装機械総合保険への団体加入の促進に努めた。

3)福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努めた。

4)関連産業との連携

包装関連産業、食品関連産業、製パン・製菓産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業などの産業連携をはじめ、官民連携も推進し、包装機械業界の発展に努めた。

(1)一般社団法人日本食品包装協会との連携

JAPANPACK2022において、一般社団法人日本食品包装協会 理事長の石谷 孝佑氏による講演会を実施した。また同展アワードの審査員を派遣にご協力を頂いた。

(2)CLOMAに関する事業 合同支部会

地球規模の新たな課題である海洋プラスチックごみの問題に対する官民連携「CLOMA(クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス)」において活動を行った。

9. 会員の現況

2022年3月31日現在の会員数は正会員140社、賛助会員115社、合計255社となっている。2021年度の入会、退会の状況は次の通りである。

1) 入会

<正会員 1社>

株式会社サイレック

<賛助会員 3社>

モスカ・ジャパン株式会社、株式会社イムラ封筒、株式会社ジェイエンタープライズ

2) 退会

<正会員 2社>

ニューロング工業株式会社、株式会社ユニバック

<賛助会員 4社>

遠山製作所株式会社、株式会社フェニックス、イワキパックス株式会社、
日本テトラパック株式会社

3) 会員登録の変更(かっこ内は旧登録名)

PACRAFT 株式会社 (東洋自動機株式会社)

アンリツ株式会社 (アンリツインフィビス株式会社)

フジシール株式会社 (フジアステック株式会社)